

日刊

産業新聞

Japan Metal Bulletin

ホリー 太陽光システム発売 一般顧客対象、一式で展開

SRGタカミヤの100%子会社で、軽仮設機材メーカーのホリー(本社=東京都江東区、森田豊社長)は、11月1日から太陽光システム販売部門を立ち上げ、一般顧客を対象

とした営業活動を開始する。建材・クリーン事業部を「エコ営業部」に変更、同営業部内にECORY(エコーリ)事業を発足し、太陽光発電、パネル、架台から施工までを含む、シス

テム一式の販売を展開する。同社は今年7月に、住宅向け太陽光発電、パネル架台を発売。大手パネルメーカー向けに供給を進めてきた。今回、一般顧客を対象に

システム一式の販売を始めたことで、一段の太陽光関連での売上拡大を狙う。来期には単独で年間7億円以上の売上高をめざす。同部門の営業担当者は7人(うち新規採用4人)。営業対象地域は関東全域となる。

さらに、10月1日付でエコ営業部創設を含む全社的な機構改革も実施。業務効率化を目的に、レンタル事業部、サスコム事業部、ホームセンター事業部を統合し「仮設営業部」とした。旧レンタル事業部の設計部門は、顧客に図面・マニュアルなどを提供する専門部署として「テック・センター(T・C)」に改組。MISAWA事業部、KRH事業部は体制は変わらず、名称のみ営業部に変更となった。以上により、4営業部制(仮設・エコ・MISAWA・KRH)へ移行した。

同社の全株式は9月28日付で、軽仮設リース上場大手のSRGタカミヤに譲渡されたが、現時点で株主の変更による経営方針の転換や経営陣の交代、既存取引先との関係に変化などは無いとしている。